

編集 後記

今年の冬は雪が多く各地でしばしば大雪警報が発表され、生活や仕事に支障をきたしたという方も少なくないと思います。我が国における COVID-19 の流行は依然深刻であり、第6波による1日死者数は過去最大を記録し、医療の逼迫問題はますます深刻化しています。この地球規模の公衆衛生危機を乗り越えるため、あるいは将来の同じような公衆衛生危機に対応するために、公衆衛生学分野の論文という形で、公衆衛生危機に対応する科学的根拠を蓄積することは本誌の役割の1つであると考えています。

さて、第69巻3号をお届けします。本号では、原著2編、資料3編が掲載されています。竹田らは、緊急事態宣言による歯科受療の差し控えに関わる受診抑制要因を明らかにしており、長期化する COVID-19 流行下での歯科受診促進に一定の示唆を与えています。岩田は、飲酒・喫煙の誘いに対する高校生の断り方について調査し、簡潔あるいは理由を伴う断り方と喫煙行為の少なさとの関連を明らかにしています。高校生を対象とした喫煙防止教育に資する1つの根拠となると考えられます。奥山らは、COVID-19 が基礎疾患保持者の療養生活に与える影響について調査し、特に呼吸器疾患や精神疾患を持つ者に影響を与えていること、また自分自身が感染する可能性があると考えている基礎疾患保持者は少ないことを明らかにしています。COVID-19 対策立案に資する1つの資料になると思われます。渡邊らは、高齢期の就労と主観的健康感の縦断的関連について文献調査を行い、この2者の間に一定の関連が存在することを明らかにしています。高齢期の健康を考える上での1つの貴重な情報になると思われます。笠原らは、COVID-19 流行下での保健師活動を調査し、COVID-19 の功罪、新しく始めた取り組みを明らかにしています。他県において保健活動を見直す上での1つの資料となる可能性があります。

日本公衆衛生学会が刊行する日本公衆衛生雑誌は、日本の健康問題を解決するための戦略や対策を考え、それを社会に実装するために必要な科学的根拠を集約する重要な場になっていると考えています。会員の皆様からの積極的な投稿をお待ちしております。(谷村 晋)

次号予告 (第69巻・第4号)

原著

平成30年7月豪雨災害の被災市町村における要介護認定率の変化と関連要因……山村奈津子, 他
 酸素療法, 夜間ケアを必要とする障害児の母親の睡眠と心の健康……………笹井佐和子, 他
 幼い子をもつ母親のコロナ禍の心理的苦痛とその関連要因: 子の育てにくさ, 発達不安, ソーシャルサポート及び受援力に焦点をあて……………木村美也子, 他

公衆衛生活動報告

新型コロナウイルス感染症流行初期における食支援ボランティア活動の記述: 活動プロセスの明確化と住民への効果の予備的検証……………黒田 藍, 他

資料

冬季における住宅内室温と外気温の実態とその関連: SWH 横断調査……………星 旦二, 他